

## 平成25年度 学校教育活動アンケート（生徒用） 集計結果

読谷高等学校

このアンケートは、学校生活全般について、生徒自身と学校・教師等の取り組みについて、生徒の意見を聞き、さらに素晴らしい学校づくりに活かしていくために実施します。普段の学校生活や授業等を参考にしてA～Dの欄に○を記入してください。

A: そう思う B: だいたいそう思う C: あまりそう思わない D: 全くそう思わない

I 生徒自身の取り組みについて		A	B	%	C	D	%
1	学ぶ目的を持って、真剣に授業に取り組んでいる。	17	29	87%	5	2	13%
2	有意義で楽しい学校生活を送っている。	35	17	98%	1	0	2%
3	「文武両道」の実現をめざして、勉強や特別活動(部活動)に励んでいる。	27	21	91%	2	3	9%
4	元気よくあいさつをしている。	31	18	92%	4	0	8%
5	服装・身なりはきちんとしている。	43	8	96%	2	0	4%
6	遅刻・欠席が少なく、規律正しい生活を送るように努めている。	32	17	92%	3	1	8%
7	交通安全や自己の健康管理等に気をつけている。	37	15	98%	0	1	2%
8	平和や自他の生命・人権を尊重するように努めている。	29	21	94%	3	0	6%
9	家庭学習等、毎日自学自習をしている。	7	14	40%	26	6	60%
10	生徒会活動や学級活動は自主的・主体的に取り組んでいる。	27	20	89%	5	1	11%
11	自らの進路について、情報収集など、意欲的に考え取り組んでいる。	23	18	77%	12	0	23%
12	清掃活動・ゴミの分別等に全員が参加している。	19	24	81%	9	1	19%
13	学校からの連絡・案内などはきちんと保護者に届けている。	19	24	81%	10	0	19%
14	読書活動がさかんである。	9	11	38%	21	12	62%
15	地域の行事・ボランティア活動に積極的に参加・協力している。	12	19	58%	17	5	42%

II 学校・教師等の取り組みについて		A	B	%	C	D	%
1	基礎・基本を重視した分かりやすい授業を行っている。	26	24	94%	2	1	6%
2	毎時間の授業の目標が明確に示されている。	17	26	81%	8	2	19%
3	習熟度授業や少人数授業は、授業理解に役立っている。	26	24	94%	3	0	6%
4	教師は、生徒の質問や意見に真剣に対応している。	38	13	96%	2	0	4%
5	教師は、テスト点だけでなく努力や態度など、様々な点から公平・公正に評価している。	29	22	96%	2	0	4%
6	地域や沖縄の歴史・文化・自然などを授業に取り入れるよう努めている。	15	18	62%	18	2	38%
7	生徒や生徒会の自主性・主体性が尊重されている。	22	26	91%	5	0	9%
8	保護者、地域の要望などを学校の教育活動に受け入れる努力がなされている。	20	24	83%	9	0	17%
9	生徒一人ひとりの希望、能力・適性に応じた進路指導が行われている。	24	22	87%	6	1	13%
10	授業、特別活動を通して、平和・人権を尊重する教育が行われている。	28	17	85%	8	0	15%
11	遅刻指導や服装指導などを通して、基本的な生活態度の確立に力を入れている。	36	14	94%	3	0	6%
12	施設・設備の充実や環境美化に努力している。	26	20	87%	7	0	13%
13	公開授業やPTA活動などを通して、学校の教育活動を保護者・地域に伝えている。	22	24	87%	6	1	13%
14	いじめの問題や悩みなどについて、生徒の個別の相談に真剣に応じている。	23	26	92%	4	0	8%
15	安全指導や安全管理が十分に行われている。	34	18	98%	1	0	2%

\* 統計人数は53人。内訳は、各クラス2人(男女各1人)×24クラス+生徒会5人。

\* 「A: そう思う」「B: だいたいそう思う」を「肯定的回答」、「C: あまりそう思わない」「D: 全くそう思わない」を「否定的回答」に大別し、%を算出した。

# 平成25年度 学校教育活動アンケート（生徒用）の結果に関する考察

読谷高等学校

- 統計人数は53人。内訳は、各クラス2人（男女各1人）×24クラス+生徒会5人。
- 「A：そう思う」「B：だいたいそう思う」を「肯定的回答」、「C：あまりそう思わない」「D：全くそう思わない」を「否定的回答」として大別し、%を算出した。

## ■「I 生徒自身の取り組みについて」の考察

全15項目のうち、12項目で75%以上の「肯定的回答」が寄せられ、特に「自らの進路について、情報収集など意欲的に取り組んでいる」「学校からの連絡・案内などはきちんと保護者に届けている」の2項目を除いて80%以上の「肯定的回答」となった。その中をみると、「元氣よくあいさつができ、規律正しい生活を送るよう努め、平和や自他の生命・人権にも思いを致しつつ、生徒会活動や部活動に対しても自主的かつ主体的に取り組む、有意義な学校生活を送っている」と捉えることができる。

一方で、「家庭学習等、毎日自学自習をしている」「読書活動がさかんである」の2項目の「肯定的回答」30%台と低い結果がえられた。これは、学校を元氣よく学校に登校し、授業を始め、学級活動、生徒会及び部活動と積極的に取り組む姿勢は見られるが、日々の授業時間や課題以外で、自ら考え、判断、決断し行動に移していくなど、時間の有効的な利用ができていないと考えられる。多方面に興味や関心をもち、追求していく自主的な行動力を培い、主体的に取り組むことが引き続き求められるだろう。

## ■「II 学校・教師等の取り組みについて」の考察

全15項目のうち、14項目で80%以上の高い「肯定的回答」が寄せられた。特に「基礎・基本を重視した分かりやすい授業を行っている」「教師は、生徒の質問や意見に真剣に対応している」「教師は、テスト点だけでなく努力や～」の授業についての3項目は90%を超える高い「肯定的回答」がえられた。これは生徒が熱心に授業に取り組む、教師も教材を研究し授業を展開していくことが、学力向上へ相乗効果となっていると思われる。しかし、沖縄の歴史・文化・自然などの授業への取り組み方が今後の課題として検討していかなければいけない。

生活習慣が確立されている生徒が多い中で、生徒指導面や安全・健康管理面は、卒業後の一人前の社会人として活躍できるよう生徒の将来像を意識した、職員共通理解のもと一貫指導していると理解できるだろう。

最後に今後の課題であるが、Iの課題でもある、生徒が将来を見据え、与えられたものをだけに取り組むだけでなく、多方面に興味関心を抱き、主体的に自ら考え、目標を定めそれに向かって取り組めるように、学校はその環境を整えていくことが課題となる。そのために、教職員の更なる研究・修養をしていかなければならないと考える。